

	北海道大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：107 第2年次：5） ※医学科を記載。 医学研究科（M：30 D：100） 遺伝子病制御研究所 人獣共通感染症リサーチセンター
沿革・設置目的	開拓時代における医師不足を背景に、医学に関する教育・研究を行い、知的道徳的及び応用的能力を展開することを目的に、北海道帝国大学医学部を経て、昭和24年（1949年）北海道大学医学部として設置された。 昭和22年（1947年） 新制北海道大学設置 昭和24年（1949年） 新制北海道大学医学部設置 昭和25年（1950年） 結核研究所設置（平成12年（2000年）に遺伝子病制御研究所に改組） 昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置  平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成17年（2005年） 人獣共通感染症リサーチセンター設置 平成22年（2010年） 遺伝子病制御研究所及び人獣共通感染症リサーチセンターが共同利用・共同研究拠点に認定
強みや特色などの役割	○ 北海道大学の理念等に基づき、全人的な教育と専門的知識の習得により、新たな分野を開拓する精神を持ち国際性を備えた、指導的立場として活躍できる医師・研究者等の養成を積極的に推進する。 ○ 分子追跡放射線治療装置の開発研究やがん免疫療法の実用化に向けた研究・がん専門人材育成、人獣共通感染症の発生・予防に関する研究を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 橋渡し研究支援拠点として、基礎研究成果の臨床への橋渡しを強力に支援することにより研究成果の実用化を推進するとともに、産学連携のもと個別化医療の提案に向けた研究を推進し、また、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難病等の医師主導治験を推進するための中心的な役割を果たし、日本発のイノベーション創出を目指す。 ○ 特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等としての取組を通じて、北海道における地域医療の中核的役割を担う。